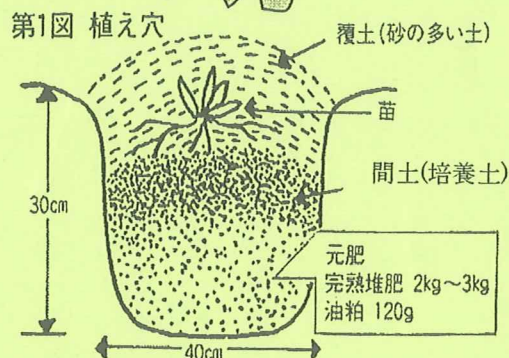


👉 植付け アスパラガスの作り方

秋植えが一般的ですが、ポット苗では春植えも可能です。

長い期間をかけて深く根を張る植物ですので、土地は土が軟らかくて水はけのよい砂質壤土が適します。粘土地や水はけの悪いところでは、堆肥や腐葉土を多く混ぜ込むとよいでしょう。いずれにしても、植え付け前に十分深耕する事が重要です。1㎡に2ヶ所くらい、図1のような植え穴を掘り、元肥を入れてから、根を広げるように植付け、軟らかい土で覆ってから灌水をしましょう。植え付け時に、地上部がある時は覆土をしません。地上部がない時（根株の場合）は、5cmほど低く植え付け覆土します。鉢やプランターで育てるには、深さ30cm以上の大型のものを用意し、野菜用の培養土を使用します。植え付けの間隔は40～50cm程度です。



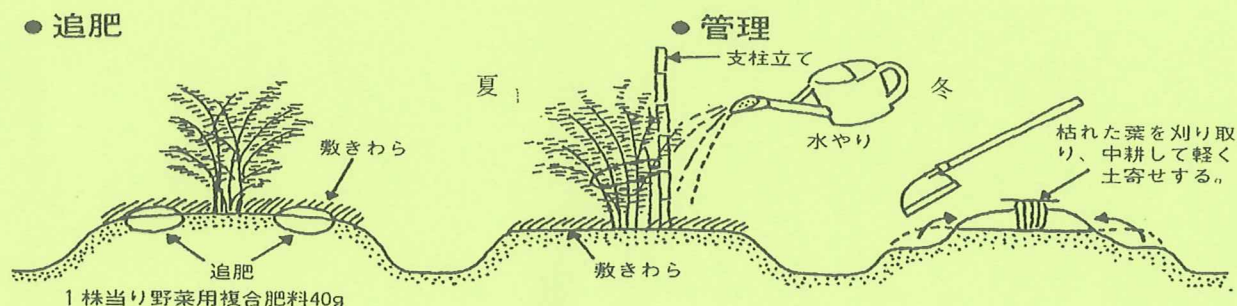
👉 支柱立て

茎葉がよく茂るので、風に当たると倒れやすく、枯れてしまうことが多いので茎が伸びだしたら、支柱を立てて茎葉が倒れないようにしましょう。

👉 追肥

肥料は、冬の12～1月、芽立ち前の3～4月、収穫後の6～7月の3回、根株の周囲を耕してから野菜用の複合肥料を1株に40gほど施し、株元に土寄せしましょう。

夏に乾燥しやすい土地では株元に敷きワラなどを敷きつめて防乾するとよいでしょう。



👉 病害虫

アスパラガスの主要な病気は茎枯れ病で、収穫終了後より定期的に薬剤散布をして防除しましょう。

👉 収穫と利用

植え付け1年目は、緑茎の収穫はせず、栄養が十分蓄えられるまで茎葉を茂らせて根株の充実を図りましょう。（ウルトラアスパラガスは1年目からの収穫も楽しめます。）

苗を植え付けて2年目から数年間は収穫を続けることができます。4月頃から若い茎が出てくるので、緑茎が20cmほどに伸び、先端の芽が開き始める前に地ぎわから刈り取ります。収穫は強い芽が出ている4～6月で止めて、その後に出た芽を来年のために養分を蓄積させます。



タキイ種苗株式会社

〒600-8686 京都市下京区梅小路通猪熊東入

www.takii.co.jp

TEL (075) 365-0123 (大代表) (075) 365-0140 (直通) FAX (075) 344-6707



ア 14A